

犯罪および刑事司法に対する 認知・感情要因の変化： 2007年と2020年の比較

Changes in cognitive and affective factors for crime and criminal justice:
A comparison between 2007 and 2020

筑波大学システム情報系¹ 筑波大学大学院システム情報工学研究科² 京都大学大学院教育学研究科³

○上市秀雄¹ 讃井 知² 楠見 孝³

¹Faculty of Engineering, Information and Systems, University of Tsukuba

²Graduate School of Systems and Information Engineering, University of Tsukuba

³Graduate School of Education, Kyoto University

Hideo UEICHI¹, Sato SANAI², and Takashi KUSUMI³

E-mail: ueichi@sk.tsukuba.ac.jp

キーワード：犯罪不安，意思決定，刑事司法

Keyword : Fear of crime, Decision-making, Criminal justice

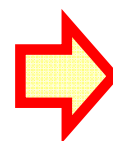
社会的背景

■ 平成元年（1989）～14年（2002）（令和元年版犯罪白書：法務省，2019）

□ 犯罪認知件数は増加、検挙率は減少

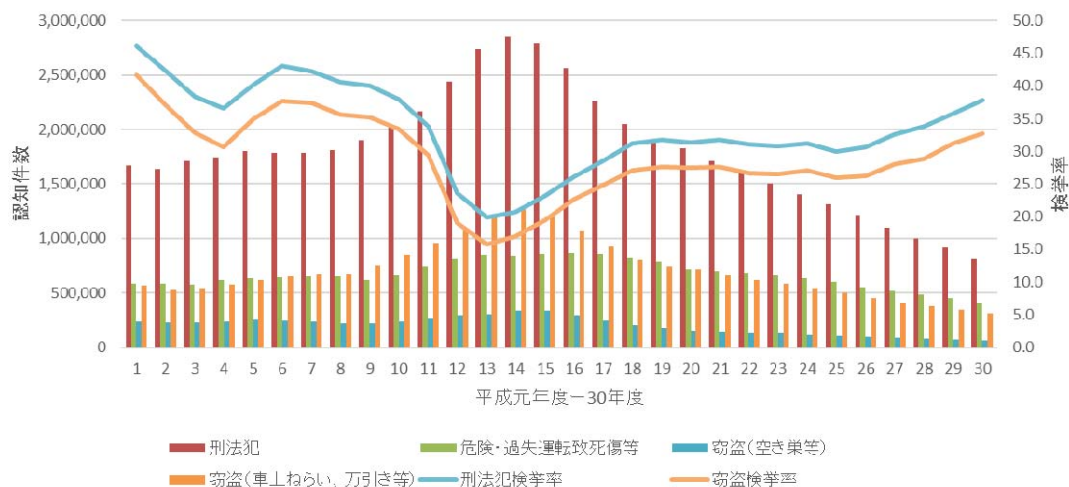
■ 治安悪化、犯罪の深刻化

□ 特に強盗の急激な増加

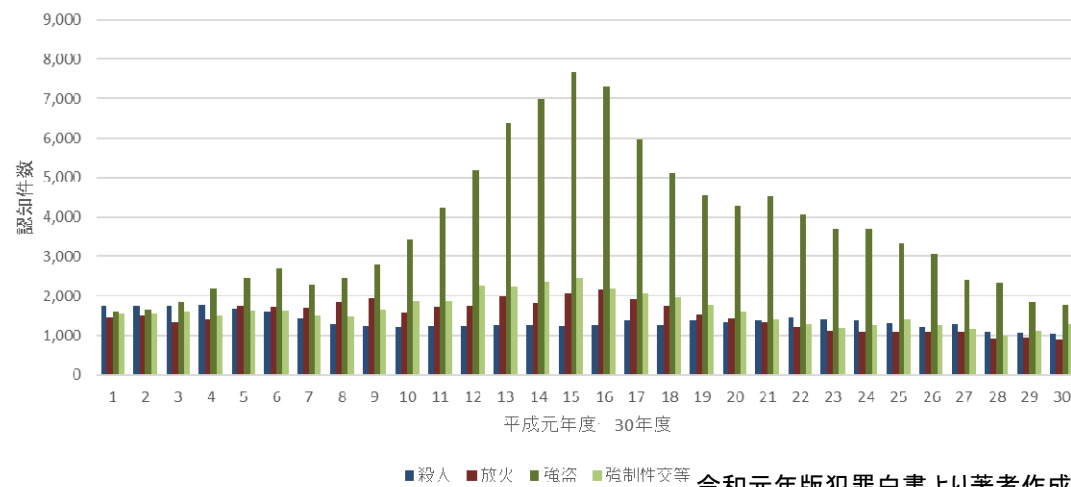


法制度改正、
厳罰化意識の高まり

刑法犯全体、危険運転等、空き巣、万引き等の認知件数と検挙率



凶悪犯（殺人、放火、強盗、強制性交）



令和元年版犯罪白書より著者作成

刑事司法制度の主な改正（一部）

- **少年法一部改正**：2007年（平成19年）、2014年（平成26年）
 - 少年院送致の下限年齢を「14歳以上」から「概ね12歳以上」に引き下げ（2007）
 - 有期刑の上限が15年以下から20年以下に引き上げ（2014）
- **裁判員制度施行**：2009年（平成21年）5月21日に施行
- **危険運転致死罪**：2013年（平成25年）
 - 業務上過失致死罪のような過失の傷害罪ではなく、故意の傷害罪として規定。厳罰化。裁判員裁判になることもある
- **ストーカー規制法一部改正**：2016年（平成28年）
 - 罰則強化、非親告罪化、SNSの連続送信等をつきまとい行為に追加など

■ 犯罪認知件数は減少傾向

- 刑法犯、危険・過失運転致死、窃盗等は、平成14年をピークに減少
 - 平成30年度の犯罪認知件数は、平成14年度の1/3以下
- 凶悪犯罪も、平成15年をピークに横ばい傾向

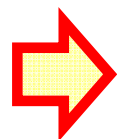
■ 検挙率も平成13年より上昇傾向

しかし

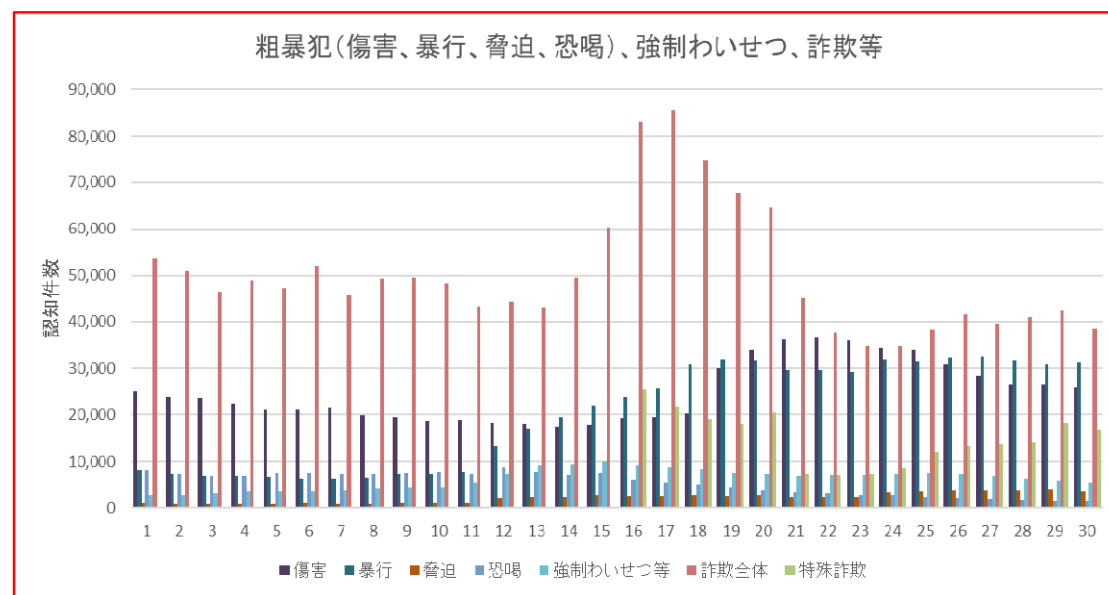
■ 粗暴犯：平成12年より増加傾向

■ 特殊詐欺：

平成14-22年に減少したが、平成23年より増加傾向



身近な犯罪は、増加傾向



目的

- 刑事司法制度改正前（2007）と改正後の現在（2020）とを比較することにより
 - 目的 1：犯罪等に対する認識の変化
 - 一般市民の犯罪に対する感情・認知、リスク回避行動
 - 刑事司法制度に対する認識
 - 被害者・加害者に対する認識
 - 目的 2：犯罪等に関する要因間の関連性の変化
 - それら要因間の関連性の変化（多母集団同時分析）
- を明らかにするとともに、
刑事司法制度改正の影響についても検討する

方法

■ 調査対象者

- 2007年（351名）：質問紙を郵送、配布回収
- 2020年（800名）：Web調査を実施
 - 2007年、2020年データともに
年代（20代-60代以上）×性別の各セルの人数はほぼ同数

■ 質問項目

- 5段階評定（1：あてはまらない～5：あてはまる）

■ 情報接触量：8項目

- 例：マルチ商法やネットワークビジネスなどの
悪徳商法に関する記事やニュースを見ている

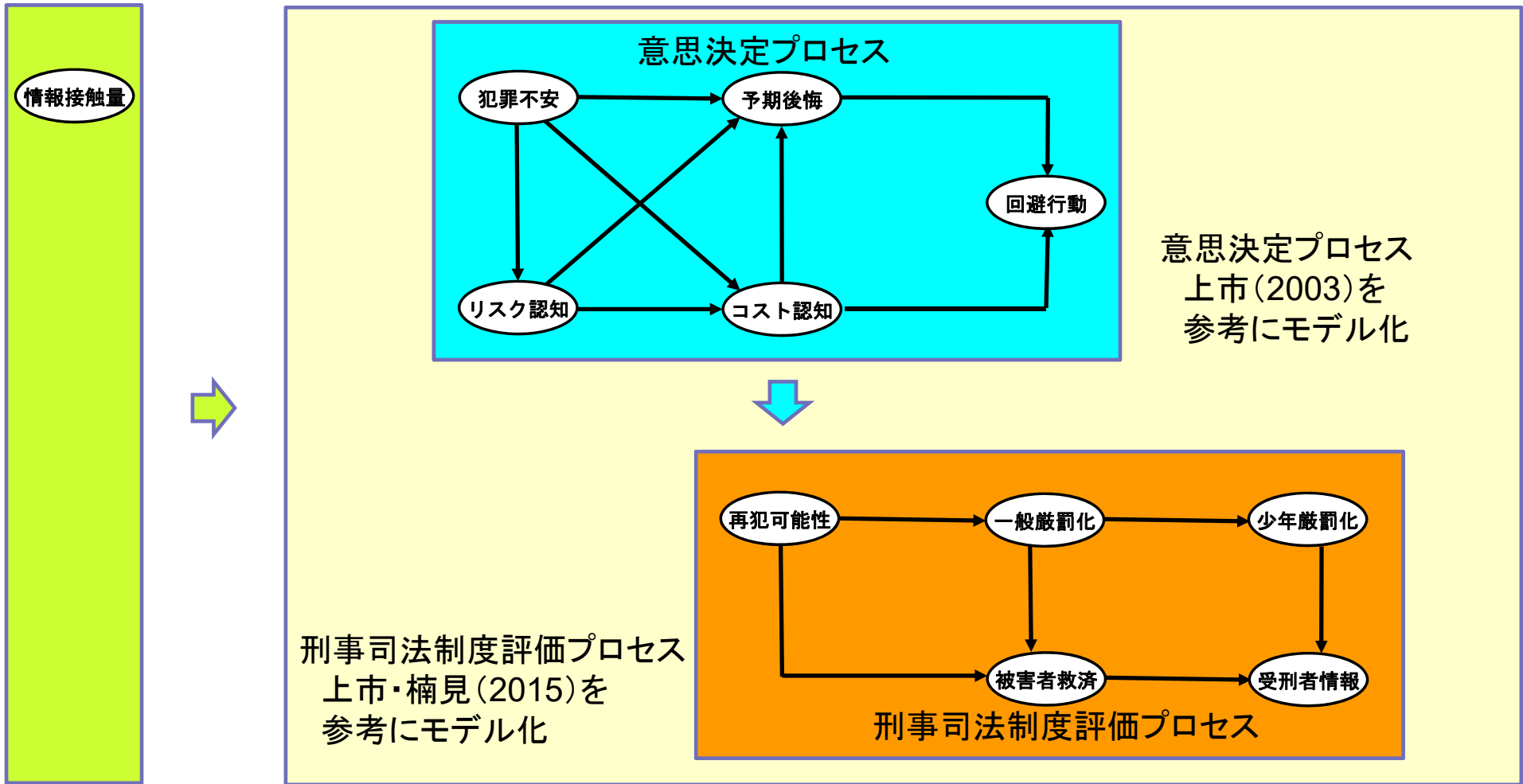
■ 意思決定に関する要因

- 犯罪不安 : 10項目 自宅に泥棒が入ることに不安を感じる
- リスク認知 : 9項目 ストーカー被害にある可能性
- コスト認知 : 4項目 防犯/被害者支援のためなら税金が増えてもよい
- 予期後悔 : 5項目 治安の悪い場所に立ち寄って被害にあった場合
- リスク回避行動 : 5項目 治安の悪い場所に立ちよらない

■ 刑事司法制度評価に関する要因

- 再犯可能性 : 4項目 更正せずに出所するかもしれない
- 一般犯罪厳罰化 : 4項目 凶悪犯罪を厳罰に処してほしい
- 少年犯罪厳罰化 : 5項目 やったことに比べ軽い判決がでている
- 被害者情報提供 : 4項目 凶悪犯被害者に出所情報等を教えるべき
- 受刑者情報接触 : 3項目 日常生活を知りたい。矯正プログラムを知りたい

犯罪不安・刑事司法制度評価モデル



結果 1

年×年代×性別の分散分析

情報接触量

Weitzer & Kubrin (2004)

- 全体に減少 (2007年 > 2020年)
- 特に2020年若年層は、減少傾向 (50-60 > 20-40代)

5段階評定 (1 : あてはまらない~5 : あてはまる)

項目	性別	2007年					2020年					F値
		20代	30代	40代	50代	60代以上	20代	30代	40代	50代	60代以上	
悪徳商法(マルチ商法等)	男性	3.54 (0.90)	3.87 (0.84)	3.94 (0.81)	3.92 (1.08)	4.00 (1.04)	2.75 (1.16)	2.82 (1.23)	2.97 (1.11)	3.47 (0.94)	3.49 (1.04)	F(1,1130)=92.01 *** 年 F(4,1130)=12.52 *** 年代
	女性	3.47 (1.04)	3.70 (0.98)	4.02 (0.87)	4.07 (1.10)	3.93 (1.02)	2.64 (1.19)	3.03 (1.19)	3.35 (0.99)	3.34 (1.05)	3.57 (1.01)	
		2020は減少。20-40代は低い。										
泥棒、ひったくり	男性	3.73 (0.90)	3.92 (0.97)	3.90 (0.75)	4.00 (1.13)	3.89 (1.06)	2.69 (1.19)	2.79 (1.26)	2.81 (1.12)	3.32 (1.01)	3.29 (1.09)	F(1,1130)=##### *** 年 F(4,1130)=6.75 *** 年代
	女性	3.63 (0.96)	3.64 (0.99)	4.02 (0.81)	4.00 (0.76)	3.96 (0.79)	2.65 (1.24)	2.94 (1.23)	3.23 (1.00)	3.23 (1.05)	3.43 (1.01)	
		2020は減少。20-40代は低い。										
性犯罪	男性	3.57 (0.93)	3.87 (0.88)	3.74 (0.77)	3.75 (1.14)	3.79 (1.09)	2.58 (1.21)	2.92 (1.21)	2.80 (1.09)	3.27 (1.08)	3.27 (1.09)	F(1,1129)=91.28 *** 年 F(4,1129)=3.40 *** 年代
	女性	3.76 (0.97)	3.66 (1.03)	3.98 (0.84)	3.79 (1.05)	3.71 (0.98)	2.83 (1.19)	2.99 (1.14)	3.32 (0.94)	3.18 (1.06)	3.35 (1.05)	
		2020は減少。20-40代は低い。										
凶悪犯罪(殺人、放火、強盗、強姦)	男性	4.19 (0.91)	4.24 (0.88)	4.10 (0.79)	4.17 (0.72)	4.11 (1.01)	2.96 (1.27)	3.08 (1.37)	2.89 (1.17)	3.35 (1.14)	3.14 (1.19)	F(1,1130)=##### *** 年
	女性	4.19 (0.66)	4.11 (0.94)	4.33 (0.64)	4.07 (1.16)	4.04 (0.64)	3.10 (1.31)	3.04 (1.18)	3.27 (1.06)	3.38 (1.03)	3.36 (1.09)	
		2020は減少。										
少年犯罪	男性	3.97 (0.87)	3.89 (0.98)	4.00 (0.82)	4.08 (0.90)	3.97 (1.03)	2.58 (1.10)	2.82 (1.28)	2.73 (1.08)	3.20 (1.01)	3.25 (1.06)	F(4,1129)=3.13 * 年×年代
	女性	3.93 (0.81)	4.11 (0.79)	4.27 (0.66)	4.20 (1.08)	3.93 (0.66)	2.62 (1.23)	2.83 (1.19)	3.26 (0.97)	3.23 (1.01)	3.30 (1.05)	
		2020の20-40代は低い。										
インターネット上に個人情報漏洩	男性	3.65 (1.03)	4.05 (0.96)	3.74 (0.93)	3.42 (1.31)	3.55 (1.25)	2.96 (1.18)	3.03 (1.33)	3.16 (1.03)	3.30 (1.03)	3.28 (1.08)	F(4,1130)=3.29 * 年×年代
	女性	3.54 (1.12)	3.49 (1.27)	3.87 (0.97)	3.40 (1.55)	3.07 (1.18)	2.75 (1.28)	2.93 (1.18)	3.34 (1.05)	3.09 (1.20)	3.13 (1.16)	
		2020の20-40代は低い。										
防犯	男性	3.35 (1.06)	3.39 (1.05)	3.68 (0.87)	3.58 (1.24)	3.97 (1.00)	2.92 (1.22)	3.01 (1.28)	3.00 (1.09)	3.23 (0.88)	3.37 (0.97)	F(1,1129)=63.76 *** 年 F(1,1129)=6.12 * 性 F(4,1129)=6.89 *** 年代
	女性	3.61 (0.91)	3.83 (0.89)	4.00 (0.67)	3.93 (1.14)	3.86 (0.71)	2.82 (1.26)	3.21 (1.11)	3.30 (0.90)	3.31 (1.01)	3.44 (1.04)	
		20-40代は低い。女性も低い										
冤罪	男性	3.16 (1.07)	3.22 (1.03)	3.52 (0.81)	3.42 (1.08)	4.19 (0.97)	2.65 (1.18)	2.75 (1.24)	2.82 (1.12)	3.03 (1.03)	3.06 (1.06)	F(4,1128)=1.96 * 年×性×代 F(4,1128)=1.43 * 年×性
	女性	3.05 (1.06)	3.32 (0.94)	3.64 (0.77)	3.47 (1.36)	3.54 (0.92)	2.36 (1.14)	2.56 (1.01)	3.08 (0.99)	2.89 (1.04)	3.17 (1.12)	
		2020の20-40代は低い。										

* p<.05, ** p<.01, *** p<.001

犯罪不安

Ferarro & LaGrange(1987)

5段階評定 (1:あてはまらない~5:あてはまる)

- 一般犯罪は減少 (2007年>2020年)
- ネット関連犯罪、性犯罪は増加
- 女性の方が不安感が高い (小野寺他(2002)を支持)

項目	性別	2007年					2020年					F値	
		20代	30代	40代	50代	60代以上	20代	30代	40代	50代	60代以上		
一般的犯罪(不安感減少)													
悪徳商法(マルチ商法等)	男性	3.38 (1.23)	3.42 (1.15)	3.35 (1.08)	3.00 (1.13)	2.95 (1.39)	2.83 (1.36)	2.65 (1.38)	2.78 (1.24)	2.68 (1.14)	2.58 (1.25)	F(1,1130)=18.70 *** 年	F(1,1130)= 4.52 * 性
	女性	3.07 (1.22)	3.30 (1.20)	3.51 (1.10)	3.27 (1.22)	3.14 (1.15)	3.13 (1.44)	3.14 (1.14)	3.12 (1.16)	3.20 (1.17)	2.57 (1.12)	F(4,1130)= 2.84 * 年代	
2020年は低下(ネット上の防犯情報にアクセスしやすくなったからかも)。20-40代が高い(マルチのターゲットになりやすいからかも)、女性も高い。													
自宅に泥棒	男性	3.78 (1.06)	3.89 (1.06)	4.19 (0.75)	3.67 (0.99)	3.63 (1.15)	3.19 (1.33)	3.24 (1.36)	3.28 (1.15)	3.20 (1.02)	3.00 (1.10)	F(1,1130)=60.06 *** 年	F(1,1130)= 7.77 ** 性
	女性	4.17 (0.79)	4.06 (1.07)	4.13 (0.92)	3.73 (1.10)	3.89 (0.99)	3.61 (1.32)	3.67 (1.20)	3.54 (1.08)	3.43 (1.09)	3.00 (1.01)	F(4,1130)= 4.24 ** 年代	
2020年は低下。20-40代や女性が高い。													
ひったくり	男性	3.23 (1.09)	2.87 (1.14)	2.58 (1.09)	2.83 (1.19)	3.11 (1.17)	2.28 (0.98)	2.42 (1.10)	2.45 (0.98)	2.41 (0.79)	2.22 (0.86)	F(1,1129)=18.81 *** 年	F(1,1130)=57.10 *** 性
	女性	2.58 (0.84)	2.30 (0.78)	2.20 (0.89)	2.07 (0.88)	2.43 (1.03)	2.38 (0.96)	2.65 (0.89)	2.68 (0.85)	2.77 (0.85)	2.34 (0.95)	F(4,1129)=5.03 ** 年代	
2020年は低下。20-40代や女性が高い(被害者は20代と60代、女性が多い)。													
暴行・傷害	男性	3.24 (1.21)	3.37 (1.03)	3.55 (1.06)	3.50 (1.09)	3.13 (1.19)	3.60 (1.14)	3.60 (1.00)	3.62 (1.08)	3.37 (1.15)	3.21 (1.14)	F(1,1130)=18.21 *** 年	F(1,1129)=12.34 *** 性
	女性	3.83 (1.04)	3.79 (0.95)	3.67 (1.11)	3.27 (1.22)	3.32 (1.09)	3.06 (1.32)	3.00 (1.32)	2.99 (1.18)	3.05 (1.05)	2.68 (1.12)	F(4,1130)=6.71 ** 年代	
2020年は低下。60代が低い(治安がよくなってきたので、被害者になりやすい年代のリスク認知がさがったのかも)。女性は高い。													
悪質運転(飲酒運転、あおり運転)	男性	3.51 (1.02)	3.74 (1.08)	4.16 (0.86)	3.67 (0.99)	3.74 (1.22)	3.19 (1.35)	3.10 (1.27)	3.11 (1.27)	3.27 (1.09)	2.87 (1.24)	F(1,1130)=53.16 *** 年	F(1,1130)= 9.09 ** 性
	女性	3.98 (0.92)	4.02 (0.87)	4.11 (0.78)	3.80 (1.21)	3.79 (1.23)	3.60 (1.33)	3.51 (1.19)	3.64 (1.20)	3.50 (1.09)	2.84 (1.17)	F(4,1130)=3.76 ** 年代	
2020年は低下。40-50代が高くなっている(自分が運転する機会が多いだけでなく、報道の影響かも)。女性は高い													
ネット関連犯罪(不安感増加)													
個人情報が原因の犯罪被害	男性	3.49 (1.10)	3.21 (1.30)	3.74 (1.13)	2.75 (1.29)	2.95 (1.39)	3.49 (1.34)	3.32 (1.22)	3.36 (1.19)	3.24 (1.10)	3.13 (1.31)	F(1,1130)=6.36 * 年	F(1,1130)= 4.66 * 性
	女性	3.68 (1.12)	3.45 (1.21)	3.45 (1.09)	3.13 (0.99)	2.68 (1.47)	3.90 (1.22)	3.71 (1.20)	3.82 (1.00)	3.55 (1.08)	3.10 (1.18)	F(4,1130)=10.91 *** 年代	
2020、20-40代、女性は不安感が高い													
インターネット上に個人情報漏洩	男性	3.51 (1.07)	3.21 (1.09)	3.68 (1.08)	3.17 (1.34)	3.05 (1.27)	3.31 (1.24)	3.38 (1.24)	3.22 (1.09)	3.04 (1.01)	2.93 (1.13)	F(4,1129)=5.35 * 年×性	
	女性	3.58 (1.15)	3.30 (1.00)	3.60 (0.99)	3.47 (1.19)	2.61 (1.32)	3.78 (1.24)	3.67 (1.15)	3.65 (1.10)	3.53 (1.09)	3.01 (1.16)		
2020は2007と比較し、女性は増加。													
性犯罪(男性の不安感増加)													
ストーカー	男性	2.27 (1.02)	2.08 (1.08)	2.23 (0.96)	1.92 (1.00)	2.11 (1.13)	2.40 (1.26)	2.35 (1.33)	2.35 (1.30)	2.22 (1.05)	1.90 (1.03)	F(4,1130)=4.29 ** 年×年代	
	女性	3.31 (1.10)	2.74 (1.11)	3.04 (1.24)	2.40 (1.35)	2.82 (1.22)	3.42 (1.37)	3.29 (1.17)	3.15 (1.25)	2.95 (1.19)	2.09 (1.02)		
2020は年齢とともに低下傾向													
性犯罪(痴漢等)	男性	1.86 (1.03)	1.63 (1.00)	1.90 (1.08)	1.67 (0.89)	1.65 (1.09)	2.37 (1.33)	2.25 (1.33)	2.23 (1.32)	1.99 (1.05)	1.71 (0.99)	F(4,1128)=3.23 * 年×年代	F(4,1128)=7.37 ** 年×性
	女性	3.55 (1.05)	3.19 (1.08)	3.22 (1.19)	2.53 (1.25)	2.79 (1.23)	3.58 (1.37)	3.29 (1.26)	3.16 (1.25)	2.91 (1.23)	1.96 (1.02)	F(4,1128)=3.25 * 年代×性	
2020の男性は増加(強姦罪に代わり強制性交罪が成立したからかも)、女性は加齢とともに減少													
重大な性犯罪(強制性交等)	男性	2.05 (1.22)	1.61 (1.00)	1.94 (1.12)	1.25 (0.45)	1.58 (1.03)	2.43 (1.29)	2.25 (1.34)	2.24 (1.28)	2.01 (1.05)	1.72 (0.99)	F(4,1130)=3.44 ** 年×年代	
	女性	3.64 (1.16)	3.02 (1.09)	3.04 (1.17)	2.53 (1.19)	2.75 (1.24)	3.57 (1.39)	3.28 (1.24)	3.16 (1.24)	2.88 (1.25)	1.99 (1.02)	F(1,1130)=8.24 ** 年代×性	
2020の男性は増加(強姦罪に代わり強制性交罪が成立したからかも)、2020は加齢とともに減少													

* p<.05, ** p<.01, *** p<.001

リスク認知

- 全体に減少（2007年＞2020年）
- 特に性犯罪は、50-60代男性は低い
- 女性の方がリスク認知が高い

5段階評定（1：あてはまらない～5：あてはまる）

項目	性別	2007年					2020年					F値		
		20代	30代	40代	50代	60代以上	20代	30代	40代	50代	60代以上			
一般犯罪(リスク認知減少)														
悪徳商法(マルチ商法等)	男性	3.11 (1.19)	2.97 (1.24)	2.87 (1.02)	3.17 (1.47)	3.49 (1.22)	2.26 (1.11)	2.06 (1.01)	2.00 (0.94)	2.16 (0.97)	1.99 (1.02)	F(4,1129)=3.96	** 年×年代	
	女性	3.41 (1.04)	3.21 (1.06)	2.93 (1.08)	2.60 (1.12)	3.36 (1.19)	2.03 (1.06)	2.32 (1.05)	2.36 (0.95)	2.32 (1.02)	1.98 (0.94)			
2007の20-30代が高い(マルチのターゲットになりやすく、対策情報が提供されていなかったからかも)。2020年減少。女性高い。														
自宅に泥棒	男性	2.64 (0.96)	2.16 (1.03)	2.00 (0.82)	2.58 (1.00)	2.51 (1.02)	2.54 (1.07)	2.68 (1.09)	2.50 (0.95)	2.70 (0.86)	2.34 (0.82)	F(4,1129)=6.14	*** 年×年代	
	女性	2.54 (0.90)	2.40 (0.93)	2.20 (0.91)	2.13 (0.83)	2.43 (0.92)	2.25 (0.96)	2.65 (0.92)	2.65 (0.87)	2.70 (0.87)	2.22 (0.90)			
2007の40代が低い。2020年減少。														
ひったくり	男性	3.23 (1.09)	2.87 (1.14)	2.58 (1.09)	2.83 (1.19)	3.11 (1.17)	2.28 (0.98)	2.42 (1.10)	2.45 (0.98)	2.41 (0.79)	2.22 (0.86)	F(4,1127)=6.30	*** 年×年代	
	女性	2.58 (0.84)	2.30 (0.78)	2.20 (0.89)	2.07 (0.88)	2.43 (1.03)	2.38 (0.96)	2.65 (0.89)	2.68 (0.85)	2.77 (0.85)	2.34 (0.95)			F(4,1127)=38.78
2007の20と60代が高い(被害者は20代と60代が多い)。2007男性も高い(被害は女性が多い)。2020年減少。女性高い。														
暴行・傷害	男性	3.14 (0.99)	2.76 (1.05)	2.48 (0.93)	2.50 (1.09)	2.92 (1.04)	2.35 (1.02)	2.56 (1.06)	2.46 (0.97)	2.61 (0.90)	2.17 (0.87)	F(4,1127)=8.12	*** 年×年代	
	女性	2.90 (0.83)	2.77 (0.89)	2.73 (0.89)	2.47 (1.06)	3.00 (0.90)	2.19 (1.06)	2.44 (0.80)	2.57 (0.81)	2.51 (0.90)	2.00 (0.85)			
60代が低い(治安がよくなってきたので、被害者になりやすい年代のリスク認知がさがったのかも)。2020年減少。														
悪質運転(飲酒運転、あおり運転)	男性	2.75 (1.00)	2.29 (1.06)	1.97 (0.75)	2.33 (0.89)	2.30 (1.13)	2.49 (1.11)	2.57 (1.06)	2.70 (1.16)	2.84 (1.05)	2.45 (1.02)	F(4,1128)=4.89	** 年×年代	
	女性	2.44 (0.93)	2.45 (0.90)	2.28 (0.81)	2.07 (1.07)	2.68 (1.16)	2.44 (1.19)	2.67 (0.93)	2.57 (0.98)	2.81 (0.99)	2.22 (1.01)			
40-50代が高くなっている(自分が運転する機会が多いだけでなく、報道の影響かも)。2020年減少。女性高い。														
ネット犯罪														
個人情報原因の犯罪被害	男性	3.49 (1.10)	3.21 (1.30)	3.74 (1.13)	2.75 (1.29)	2.95 (1.39)	3.49 (1.34)	3.32 (1.22)	3.36 (1.19)	3.24 (1.10)	3.13 (1.31)	F(1,1128)=6.36	* 年	F(1,1128)=4.66 * 年代
	女性	3.68 (1.12)	3.45 (1.21)	3.45 (1.09)	3.13 (0.99)	2.68 (1.47)	3.90 (1.22)	3.71 (1.20)	3.82 (1.00)	3.55 (1.08)	3.10 (1.18)			
2020は高い。女性の方が高い。年代が上がると、減少する														
性犯罪(高齢男性は低い)														
ストーカー	男性	4.11 (0.92)	3.95 (1.16)	4.03 (0.98)	3.92 (1.17)	3.97 (1.04)	1.94 (1.01)	1.79 (0.95)	1.77 (0.90)	1.96 (0.93)	1.59 (0.72)	F(4,1129)=3.73	** 年×年代	
	女性	3.02 (0.82)	3.36 (0.94)	3.20 (0.93)	3.40 (1.06)	3.36 (1.06)	2.40 (1.11)	2.29 (0.90)	2.30 (0.93)	2.27 (1.02)	1.60 (0.67)			F(4,1129)=70.84
高齢男性は低い。女性よりも男性の方が、減少率が高い														
性犯罪(痴漢等)	男性	4.17 (1.00)	4.21 (1.02)	4.26 (0.89)	4.50 (0.80)	4.46 (0.84)	1.86 (0.94)	1.68 (0.93)	1.65 (0.93)	1.77 (0.92)	1.43 (0.66)	F(4,1129)=10.87	*** 年×年代	
	女性	2.81 (0.88)	3.15 (0.91)	3.15 (0.84)	2.93 (1.10)	3.43 (1.07)	2.40 (1.10)	2.32 (0.89)	2.30 (0.93)	2.11 (1.05)	1.48 (0.63)			F(4,1129)=176.15
高齢男性は低い。女性よりも男性の方が、減少の割合が高い														
重大な性犯罪(強制性交等)	男性	4.22 (0.96)	4.08 (1.19)	4.26 (0.89)	4.58 (0.67)	4.54 (0.73)	1.97 (1.05)	1.65 (0.94)	1.64 (0.90)	1.76 (0.89)	1.49 (0.73)	F(4,1129)=9.16	* 年×年代	F(4,1130)=2.83 * 年代×性
	女性	3.00 (0.93)	3.30 (0.86)	3.24 (0.87)	2.87 (1.06)	3.61 (1.07)	2.08 (0.95)	2.24 (0.81)	2.15 (0.86)	2.11 (0.97)	1.52 (0.72)			
高齢男性は低い。女性よりも男性の方が、減少の割合が高い														

* p<.05, ** p<.01, *** p<.001

予期後悔

5段階評定（1：あてはまらない～5：あてはまる）

- 2020の方が予期後悔が低い
- 女性は予期後悔が高い

12

項目	性別	2007年					2020年					F値
		20代	30代	40代	50代	60代以上	20代	30代	40代	50代	60代以上	
夜道で遠回りをしなければよかった	男性	4.03 (0.96)	4.13 (0.99)	4.00 (0.73)	4.42 (0.52)	4.00 (0.91)	3.42 (1.31)	3.56 (1.27)	3.42 (1.19)	3.51 (0.95)	3.52 (1.17)	F(1,1130)=46.73 *** 年
	女性	4.49 (0.65)	4.64 (0.49)	4.35 (0.92)	4.33 (1.05)	4.39 (1.10)	3.96 (1.04)	4.01 (0.94)	4.16 (0.97)	4.24 (1.02)	4.03 (1.15)	
2020は2007より予期後悔が低い。女性は男性より予期後悔が高い。												
治安の悪そうな場所に立ち寄らなければよかった	男性	3.86 (1.11)	4.32 (0.78)	4.29 (0.64)	4.25 (0.87)	4.24 (1.04)	3.72 (1.15)	3.74 (1.11)	3.62 (1.17)	3.62 (0.98)	3.74 (1.03)	F(1,1130)=51.78 *** 年
	女性	4.61 (0.62)	4.72 (0.58)	4.54 (0.81)	4.67 (0.62)	4.50 (0.69)	4.01 (1.09)	4.04 (0.96)	4.30 (0.89)	4.23 (1.00)	4.06 (1.12)	
2020は2007より予期後悔が低い。女性は男性より予期後悔が高い。												
Web上で個人的なことを書かなければよかった	男性	3.84 (1.12)	4.08 (0.91)	4.00 (1.00)	3.75 (1.06)	3.69 (1.35)	3.64 (1.14)	3.67 (1.15)	3.55 (1.24)	3.51 (1.06)	3.56 (1.19)	F(1,1127)=10.82 ** 年
	女性	4.34 (0.78)	4.47 (0.95)	4.48 (0.75)	3.93 (1.34)	4.15 (1.03)	4.01 (1.08)	4.04 (0.94)	4.18 (0.88)	4.15 (1.03)	3.92 (1.25)	
2020は2007より予期後悔が低い。女性は男性より予期後悔が高い。												
SNSなどに個人情報を登録しなければよかった	男性	3.81 (1.18)	4.05 (1.11)	3.87 (0.96)	3.92 (1.00)	3.81 (1.37)	3.63 (1.19)	3.72 (1.12)	3.61 (1.16)	3.57 (1.02)	3.65 (1.12)	F(1,1126)=6.89 ** 年
	女性	4.19 (0.95)	4.49 (0.66)	4.30 (0.87)	3.93 (1.34)	3.96 (1.00)	3.86 (1.15)	4.01 (0.93)	4.18 (0.85)	4.16 (0.99)	3.98 (1.23)	
2020は2007より予期後悔が低い。女性は男性より予期後悔が高い。												
法律関係者等とのつてをもちおけばよかった	男性	3.03 (1.17)	3.50 (1.23)	3.84 (0.82)	3.92 (1.00)	3.51 (1.22)	3.31 (1.22)	3.64 (1.17)	3.26 (1.14)	3.32 (1.06)	3.39 (1.13)	F(4,1130)=3.37 * 年×年代×性
	女性	3.29 (1.10)	3.45 (1.36)	2.91 (1.15)	3.67 (0.98)	3.11 (0.96)	3.47 (1.22)	3.62 (1.03)	3.68 (1.18)	3.84 (0.98)	3.66 (1.15)	
2007から2020にかけて男性は下がっているが女性は上がっている												
* p<.05, ** p<.01, *** p<.001												

コスト認知

5段階評定（1：あてはまらない～5：あてはまる）

- 2020の方がコストをいとわない
- 年代が上がるとコストをいとわなくなる

項目	性別	2007年					2020年					F値
		20代	30代	40代	50代	60代以上	20代	30代	40代	50代	60代以上	
防犯のためなら税金が高くてよい	男性	2.81 (1.06)	3.05 (1.18)	3.13 (0.81)	3.45 (0.82)	3.30 (1.22)	3.04 (1.03)	3.07 (1.03)	2.91 (1.08)	2.91 (0.98)	3.35 (1.11)	F(4,1127)=2.52 * 年代
	女性	3.00 (1.03)	2.85 (0.78)	3.04 (1.00)	3.27 (1.03)	3.04 (0.79)	2.92 (1.21)	3.08 (1.02)	3.14 (0.96)	3.08 (0.99)	3.25 (0.98)	
年代が上がるにつれコストをいとわなくなる。												
被害者救済のためなら税金増も可	男性	2.81 (1.17)	3.16 (1.24)	3.29 (0.86)	3.25 (0.75)	3.41 (1.26)	2.94 (1.03)	3.07 (1.08)	2.88 (1.02)	2.82 (0.96)	3.22 (1.10)	F(4,1127)=3.55 ** 年代
	女性	3.10 (1.05)	3.15 (0.86)	3.24 (0.91)	3.33 (1.05)	3.43 (1.07)	2.89 (1.23)	3.04 (1.00)	3.09 (0.94)	3.01 (0.99)	3.21 (0.94)	
年代が上がるにつれコストをいとわなくなる。2020の方がコストをいとわない												
防犯のためなら多少不便でもよい	男性	2.94 (1.31)	3.21 (1.32)	3.13 (1.07)	3.58 (1.00)	3.47 (1.34)	2.97 (1.05)	3.10 (1.04)	2.89 (0.97)	2.92 (0.86)	3.20 (1.05)	F(4,1125)=3.61 ** 年代
	女性	3.29 (1.10)	3.53 (0.91)	3.33 (0.99)	3.47 (1.19)	3.30 (1.20)	2.63 (1.16)	3.03 (0.87)	3.14 (0.96)	3.19 (0.86)	3.23 (0.91)	
年代が上がるにつれコストをいとわなくなる。2020の方がコストをいとわない												
防犯を心がけることは面倒ではない	男性	3.56 (1.24)	3.95 (1.01)	3.87 (0.89)	3.36 (1.21)	4.18 (1.04)	3.38 (1.05)	3.47 (1.01)	3.49 (0.97)	3.36 (0.82)	3.69 (0.87)	F(4,1120)=6.75 *** 年代
	女性	3.86 (1.19)	4.11 (0.84)	4.04 (1.01)	3.53 (1.46)	4.04 (1.19)	3.17 (1.26)	3.61 (0.99)	3.68 (1.00)	3.62 (0.81)	3.84 (0.87)	
年代が上がるにつれコストをいとわなくなる。2020の方がコストをいとわない												
* p<.05, ** p<.01, *** p<.001												

リスク回避行動

- 全体に回避行動が減少（2007年＞2020年）
- 女性は回避傾向が高い
 - 法曹関係者につてがある人が増加

5段階評価（1：あてはまらない～5：あてはまる）

項目	性別	2007年					2020年					F値
		20代	30代	40代	50代	60代以上	20代	30代	40代	50代	60代以上	
夜道では遠回りでも安全な道歩く	男性	3.16 (1.37)	2.63 (1.34)	2.94 (1.21)	3.33 (1.30)	3.68 (1.07)	2.99 (1.30)	3.10 (1.30)	2.78 (1.14)	3.04 (1.09)	3.29 (1.22)	F(4,1131)=2.67 *** 年代×性
	女性	3.83 (1.12)	4.15 (0.91)	4.07 (0.98)	4.40 (0.74)	4.43 (0.88)	3.42 (1.28)	3.69 (1.10)	4.01 (0.93)	4.01 (0.88)	4.04 (1.00)	
2007の50-60代は回避行動をする傾向が高い。2020は減少。女性は高い。												
ネット上での個人情報に気を遣う	男性	3.86 (1.23)	3.68 (1.34)	3.48 (1.24)	3.08 (1.24)	3.03 (1.54)	3.72 (1.22)	3.74 (1.13)	3.57 (1.27)	3.51 (1.22)	3.25 (1.38)	F(4,1127)=4.57 ** 年×年代
	女性	4.03 (0.98)	4.19 (1.06)	3.96 (1.23)	3.40 (1.45)	3.04 (1.48)	3.68 (1.21)	3.94 (0.90)	3.86 (1.08)	3.99 (0.94)	4.05 (1.04)	
2007の50-60代のみ低い(当時の高齢者にはまだネットが一般的ではなかったからかも)。2020は減少。女性は高い。												
個人情報必要なHP等に登録しない	男性	3.27 (1.41)	3.61 (1.48)	3.90 (1.04)	3.67 (1.07)	3.75 (1.42)	3.35 (1.25)	3.51 (1.25)	3.42 (1.29)	3.64 (1.15)	3.58 (1.20)	F(1,1127)=4.48 * 年 F(1,1127)=10.66 ** 性
	女性	3.37 (1.50)	4.21 (1.10)	4.17 (1.24)	4.13 (1.46)	3.92 (1.41)	3.19 (1.33)	3.53 (1.24)	3.86 (1.04)	3.97 (1.05)	4.13 (1.04)	
2007の50-60代のみ低い(当時の高齢者にはまだネットが一般的ではなかったからかも)。2020は減少。女性は高い。												
治安の悪い場所に近づかない	男性	3.73 (1.05)	3.55 (1.13)	4.10 (0.80)	4.00 (0.60)	4.25 (0.81)	3.63 (1.12)	3.78 (1.01)	3.51 (1.08)	3.58 (1.01)	3.88 (1.08)	F(4,1128)=2.94 * 年×年代×性
	女性	3.88 (1.05)	4.38 (0.87)	4.43 (0.81)	4.47 (1.13)	4.29 (1.05)	3.97 (1.03)	4.01 (0.97)	4.31 (0.79)	4.31 (0.86)	4.50 (0.72)	
2020男性は低い傾向あり。2020は減少。女性は高い。												
法曹関係者にアドバイス得られる	男性	2.05 (1.25)	1.87 (1.26)	2.65 (1.38)	2.50 (1.51)	2.95 (1.45)	2.22 (1.13)	2.64 (1.18)	2.61 (1.21)	2.38 (1.09)	2.93 (1.23)	F(4,1131)=2.40 * 年×年代
	女性	2.37 (1.47)	2.19 (1.38)	1.96 (1.17)	2.80 (1.47)	2.43 (1.37)	2.15 (1.17)	2.72 (1.18)	2.59 (1.29)	2.80 (1.33)	3.07 (1.24)	
2020は60代は高い。2020は高い(法律が若干身近になったのかも)												

* p<.05, ** p<.01, *** p<.001

再犯可能性

- 再犯しないという認識が上昇
 - 年配者は「更生している」という認識が比較的高い

5段階評定（1：あてはまらない～5：あてはまる）

項目	性別	2007年					2020年					F値
		20代	30代	40代	50代	60代以上	20代	30代	40代	50代	60代以上	
更正せずに出所するかもしれない	男性	3.95 (1.13)	4.50 (0.89)	4.29 (0.82)	4.17 (0.72)	4.45 (0.83)	3.94 (0.90)	4.32 (0.78)	4.00 (0.94)	4.09 (0.78)	3.94 (0.84)	F(4,1130)=2.40 * 年×年代
	女性	4.34 (0.84)	4.38 (0.87)	4.78 (0.42)	4.33 (1.11)	4.39 (0.88)	4.18 (0.85)	4.29 (0.86)	4.11 (0.80)	4.23 (0.85)	4.07 (0.75)	
2007の40代と60代は、2020の他年代と同程度まで下がっている												
再び罪を犯すかもしれない	男性	3.81 (0.97)	4.03 (1.05)	4.00 (0.78)	3.92 (0.79)	4.03 (0.73)	3.86 (1.00)	4.22 (0.79)	3.76 (0.96)	3.92 (0.81)	3.77 (0.79)	F(4,1127)=2.70 * 年代
	女性	4.03 (0.67)	4.15 (0.66)	4.15 (0.67)	4.13 (0.74)	3.81 (1.06)	4.11 (0.90)	4.11 (0.87)	4.07 (0.73)	3.99 (0.87)	3.81 (0.88)	
60代は低い												
また性犯罪を犯すかもしれない	男性	3.97 (1.01)	4.39 (0.82)	4.55 (0.57)	4.42 (0.67)	4.58 (0.55)	4.00 (0.92)	4.31 (0.82)	3.97 (0.97)	4.22 (0.86)	4.02 (0.85)	F(4,1130)=2.43 * 年×年代
	女性	4.46 (0.80)	4.60 (0.65)	4.80 (0.41)	4.67 (0.62)	4.50 (0.69)	4.28 (0.86)	4.32 (0.89)	4.32 (0.78)	4.36 (0.84)	4.30 (0.70)	
2007の40代と60代は、2020の他年代と同程度まで下がっている												
再犯率の高い犯罪を犯した人はまた罪を犯すかもしれない	男性	4.03 (0.94)	4.50 (0.80)	4.39 (0.62)	4.42 (0.67)	4.50 (0.60)	4.00 (1.02)	4.35 (0.79)	4.04 (0.96)	4.30 (0.81)	4.05 (0.89)	F(1,1128)=19.12 *** 年 F(1,1128)=9.38 ** 性
	女性	4.38 (0.79)	4.53 (0.65)	4.84 (0.37)	4.60 (0.74)	4.50 (0.69)	4.21 (0.96)	4.29 (0.86)	4.35 (0.73)	4.31 (0.88)	4.29 (0.70)	
2020は低い。女性は高い。20代は低い												

* p<.05, ** p<.01, *** p<.001

厳罰化（一般、少年）

- 厳罰化を求める傾向は全体的に減少
 - 特に男性や年配者はその傾向が強い

5段階評定（1：あてはまらない～5：あてはまる）

項目	性別	2007年					2020年					F値
		20代	30代	40代	50代	60代以上	20代	30代	40代	50代	60代以上	
一般犯罪（厳罰化意識は減少）												
凶悪犯罪を厳罰化してほしい	男性	4.27 (0.90)	4.68 (0.57)	4.61 (0.62)	4.83 (0.39)	4.89 (0.31)	4.14 (0.89)	4.18 (0.91)	4.12 (1.07)	4.36 (0.79)	4.22 (0.85)	F(1,1131)=47.93 *** 年 F(4,1131)=3.48 ** 年代
	女性	4.54 (0.80)	4.64 (0.61)	4.72 (0.50)	4.60 (0.74)	4.75 (0.44)	4.19 (0.99)	4.17 (1.04)	4.43 (0.81)	4.43 (0.80)	4.34 (0.75)	
2020は減少。20代が低い。												
性犯罪を厳罰化してほしい	男性	4.14 (0.86)	4.50 (0.80)	4.39 (0.76)	4.58 (0.52)	4.71 (0.52)	4.04 (0.97)	4.08 (1.02)	4.00 (1.10)	4.27 (0.73)	4.12 (0.83)	F(1,1131)=32.40 *** 年 F(4,1131)=2.52 * 年代 F(1,1127)=14.11 ** 性
	女性	4.54 (0.75)	4.70 (0.59)	4.76 (0.43)	4.60 (0.51)	4.68 (0.55)	4.24 (1.01)	4.25 (1.05)	4.43 (0.83)	4.43 (0.85)	4.40 (0.74)	
2020は減少。女性は高い。年代が上がると高くなる。												
危険運転を厳罰化してほしい	男性	4.38 (0.79)	4.26 (1.11)	4.42 (0.72)	4.50 (0.67)	4.82 (0.39)	4.19 (0.97)	4.22 (0.92)	4.03 (1.07)	4.35 (0.77)	4.20 (0.83)	F(1,1131)=22.39 *** 年 F(4,1131)=2.84 * 年代 F(1,1127)=4.61 * 性
	女性	4.44 (0.84)	4.62 (0.61)	4.67 (0.47)	4.53 (0.74)	4.75 (0.44)	4.21 (0.99)	4.14 (1.05)	4.43 (0.80)	4.43 (0.86)	4.41 (0.67)	
2020は減少。女性は高い。年代が上がると高くなる。												
凶悪犯罪厳罰化は抑止効果がある	男性	3.81 (1.27)	4.42 (0.86)	4.32 (0.87)	4.50 (1.00)	4.32 (1.17)	3.99 (0.91)	3.97 (1.05)	3.72 (1.13)	4.12 (0.81)	4.10 (0.85)	F(1,1131)=21.84 *** 年
	女性	4.20 (0.91)	4.36 (0.87)	4.48 (0.84)	4.33 (0.82)	4.39 (1.07)	3.97 (1.10)	3.93 (1.01)	3.99 (0.96)	4.16 (0.81)	4.09 (0.82)	
少年犯罪（厳罰化意識は減少）												
未成年であっても、凶悪犯罪の場合氏名を公表すべき	男性	4.11 (1.08)	4.42 (0.83)	4.45 (0.81)	4.36 (0.81)	4.42 (0.79)	3.93 (0.95)	4.17 (0.95)	3.80 (1.10)	4.19 (0.86)	3.98 (0.89)	F(1,1130)=19.87 *** 年
	女性	4.07 (0.98)	4.26 (0.85)	4.09 (0.94)	4.47 (0.83)	4.04 (0.88)	3.79 (1.13)	3.85 (1.13)	3.99 (0.93)	4.07 (0.97)	3.93 (0.92)	
2020は減少。												
未成年であっても、凶悪犯罪の場合死刑判決もやむを得ない	男性	4.11 (1.20)	4.21 (1.07)	4.42 (0.89)	4.58 (0.52)	4.58 (0.79)	3.83 (0.99)	4.10 (1.01)	3.93 (1.09)	4.27 (0.83)	3.94 (0.93)	F(1,1131)=16.53 *** 年 F(4,1131)=2.41 * 年代 F(1,1131)=6.10 * 性
	女性	4.00 (0.95)	4.06 (1.01)	4.15 (1.10)	4.27 (0.88)	4.14 (0.97)	3.81 (1.13)	3.90 (1.06)	4.00 (0.95)	4.07 (1.03)	3.84 (1.04)	
2020は減少。女性は高い。年代が上がると高くなる												
少年が行ったことに比べ軽い判決が出ている	男性	4.43 (0.87)	4.47 (0.73)	4.40 (0.72)	4.42 (0.52)	4.47 (0.76)	3.90 (0.83)	4.11 (0.90)	3.81 (0.95)	4.07 (0.80)	3.82 (0.84)	F(1,1130)=57.92 *** 年
	女性	4.03 (0.89)	4.36 (0.74)	4.50 (0.59)	4.53 (0.52)	4.36 (0.78)	3.76 (1.01)	3.85 (1.03)	3.99 (0.91)	4.15 (0.90)	3.96 (0.85)	
2020は減少。												
成人と同じ罰則にすることで少年犯罪を抑止できる	男性	3.70 (1.10)	4.03 (1.00)	4.00 (1.00)	4.08 (1.08)	3.87 (1.28)	3.89 (0.99)	3.86 (1.09)	3.85 (1.06)	4.09 (0.81)	3.73 (0.95)	n.s.
	女性	3.78 (0.97)	3.94 (1.03)	3.93 (0.93)	4.07 (0.88)	3.70 (0.95)	3.68 (1.15)	3.81 (0.97)	3.91 (0.97)	4.00 (0.95)	3.70 (0.92)	
未成年という理由だけで罪が軽くなることに納得できない	男性	4.49 (0.84)	4.58 (0.68)	4.58 (0.62)	4.50 (0.67)	4.47 (0.60)	4.03 (0.89)	4.21 (0.87)	3.89 (1.11)	4.27 (0.83)	3.97 (0.87)	F(1,1131)=39.00 *** 年
	女性	4.24 (0.90)	4.47 (0.72)	4.41 (0.62)	4.40 (0.83)	4.43 (0.57)	4.07 (1.03)	3.97 (1.05)	4.16 (0.84)	4.19 (0.90)	4.04 (0.83)	
2020は減少。												

* p<.05, ** p<.01, *** p<.001

被害者への情報提供

- 被害者への情報提供や権利を付与する意識が低下

5段階評定（1：あてはまらない～5：あてはまる）

Items	Sex	2007					2020					F value
		20s	30s	40s	50s	60s and over	20s	30s	40s	50s	60s and over	
凶悪犯が出所した時は被害者に知らせるべき	男性	3.92 (1.26)	4.42 (0.95)	4.13 (0.92)	4.08 (0.79)	4.39 (1.13)	3.83 (0.96)	3.72 (0.97)	3.68 (1.01)	3.96 (0.94)	3.97 (0.88)	F(1,1129)=2.41 * 年×年代
	女性	4.16 (0.95)	4.36 (0.87)	4.54 (0.75)	4.27 (0.88)	4.11 (0.93)	3.65 (1.09)	3.89 (1.04)	4.14 (1.01)	4.04 (0.99)	3.95 (0.92)	
2020の20-30代が低い。2020年は減少												
性犯罪等の重大な犯罪は、被害者に居場所を知らせるべき	男性	4.11 (1.13)	4.39 (0.95)	4.10 (0.87)	4.08 (0.90)	4.32 (1.02)	3.75 (1.08)	3.79 (1.03)	3.78 (1.11)	3.91 (0.94)	3.97 (0.89)	F(1,1129)=22.88 *** 年
	女性	4.28 (0.89)	4.45 (0.72)	4.65 (0.64)	4.13 (1.19)	3.81 (1.30)	3.88 (1.09)	3.92 (1.08)	4.26 (0.97)	4.23 (0.96)	4.06 (0.91)	
2020は減少												
被害者が望めば、加害者と話をする機会を与えるべき	男性	3.57 (1.35)	4.00 (1.16)	3.84 (0.90)	4.25 (0.75)	3.97 (1.17)	3.74 (1.02)	3.74 (1.02)	3.34 (1.01)	3.61 (1.07)	3.77 (0.96)	F(1,1127)=17.02 *** 年
	女性	3.95 (0.90)	4.00 (0.91)	4.00 (0.76)	3.93 (0.96)	3.81 (1.00)	3.47 (1.06)	3.60 (0.97)	3.68 (0.86)	3.78 (0.90)	3.79 (0.82)	
2020は減少												
被害者が望めば、裁判で加害者に意見を言う機会を与えるべき	男性	3.73 (1.12)	4.24 (0.82)	4.06 (0.77)	4.50 (0.52)	4.55 (0.65)	3.93 (0.86)	3.76 (0.94)	3.76 (0.96)	4.01 (1.00)	3.97 (0.87)	F(1,1129)=3.38 ** 年代×性
	女性	4.05 (0.87)	4.11 (0.79)	4.33 (0.76)	4.13 (0.99)	4.30 (0.72)	3.85 (1.00)	3.85 (0.97)	3.91 (0.92)	3.93 (0.91)	4.04 (0.84)	
40代女性が低い。2020年は減少												

* p<.05, ** p<.01, *** p<.001

受刑者情報接触

- 加害者に対する関心が低下

5段階評定（1：あてはまらない～5：あてはまる）

項目	性別	2007年					2020年					F値
		20代	30代	40代	50代	60代以上	20代	30代	40代	50代	60代以上	
受刑者の刑務所生活を知りたい	男性	3.78 (1.11)	4.05 (1.06)	3.68 (0.91)	4.25 (0.75)	3.61 (1.10)	3.32 (1.07)	3.39 (1.11)	3.01 (1.10)	3.15 (1.20)	3.04 (1.11)	F(1,1129)=79.64 *** 年
	女性	3.86 (0.89)	3.91 (0.83)	3.85 (0.89)	3.60 (0.99)	3.67 (1.11)	3.17 (1.16)	3.31 (1.03)	3.15 (1.18)	3.08 (1.06)	2.99 (1.06)	
2020は減少。女性は高い。年代が上がると低くなる。												
再犯防止プログラムを知りたい	男性	4.19 (0.91)	4.03 (1.10)	4.10 (0.83)	4.17 (0.84)	4.05 (1.03)	3.64 (0.98)	3.51 (1.11)	3.47 (0.90)	3.57 (0.95)	3.46 (1.00)	F(1,1128)=65.70 *** 年
	女性	4.21 (0.77)	4.13 (0.77)	4.20 (0.75)	3.93 (1.03)	3.81 (1.04)	3.54 (1.11)	3.50 (0.99)	3.53 (1.16)	3.53 (1.01)	3.50 (0.96)	
2020は減少												
加害者・被害者の体験を市民に知らせることは防犯に役立つ	男性	3.76 (1.01)	4.21 (0.94)	3.97 (0.75)	4.33 (0.78)	4.08 (0.88)	3.65 (0.98)	3.75 (1.08)	3.59 (0.86)	3.58 (0.88)	3.61 (0.86)	F(1,1130)=63.88 *** 年
	女性	4.05 (0.73)	4.26 (0.79)	4.16 (0.74)	4.33 (0.90)	3.86 (1.08)	3.54 (0.99)	3.47 (0.99)	3.65 (0.87)	3.57 (0.97)	3.47 (0.95)	
2020は減少												

* p<.05, ** p<.01, *** p<.001

結果1 まとめ

■ 2020は2007と比較して

- 刑法犯等の認知件数減少、検挙率上昇
- 犯罪不安（50-60代低い）、リスク認知、コスト意識は減少
⇒社会に対する安全意識、安全維持負担意識は増加傾向
- 再犯可能性、厳罰化（一般、少年）意識は減少
⇒犯罪者に対する許容度は増加傾向

■ しかしながら、

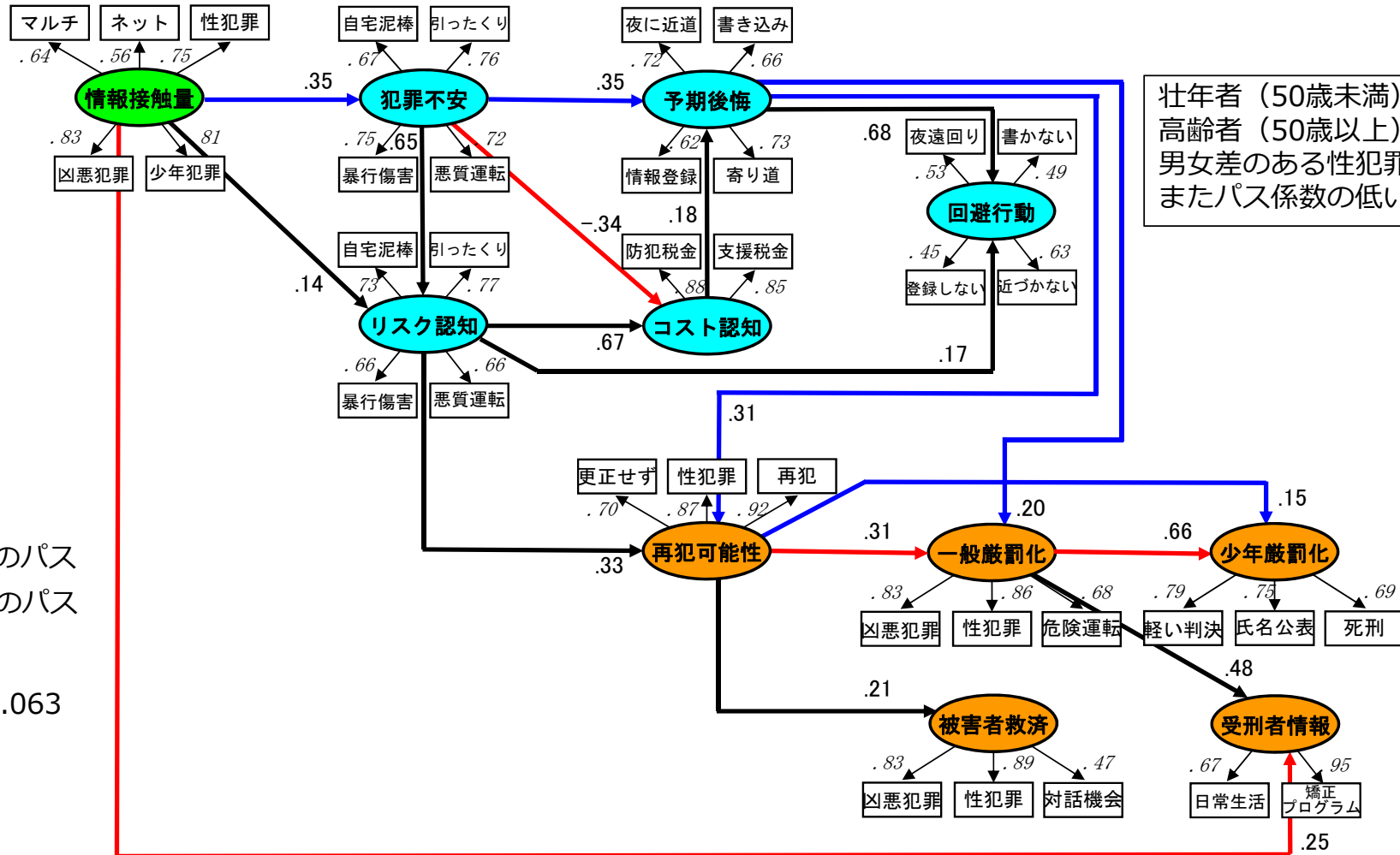
- 情報接触、予期後悔、リスク回避行動は減少
- 被害者への情報提供・権利付与、加害者に対する情報接触意向は低下

犯罪関連自体に、関心が薄れてきている可能性あり

裁判員制度施行3年後は司法と国民意識との乖離はまだ是正されていない（上市・楠見,2015）が、さらに8年経過しており、乖離も是正したためかもしれない。ただし防犯意識等の低下は懸念事項

結果2

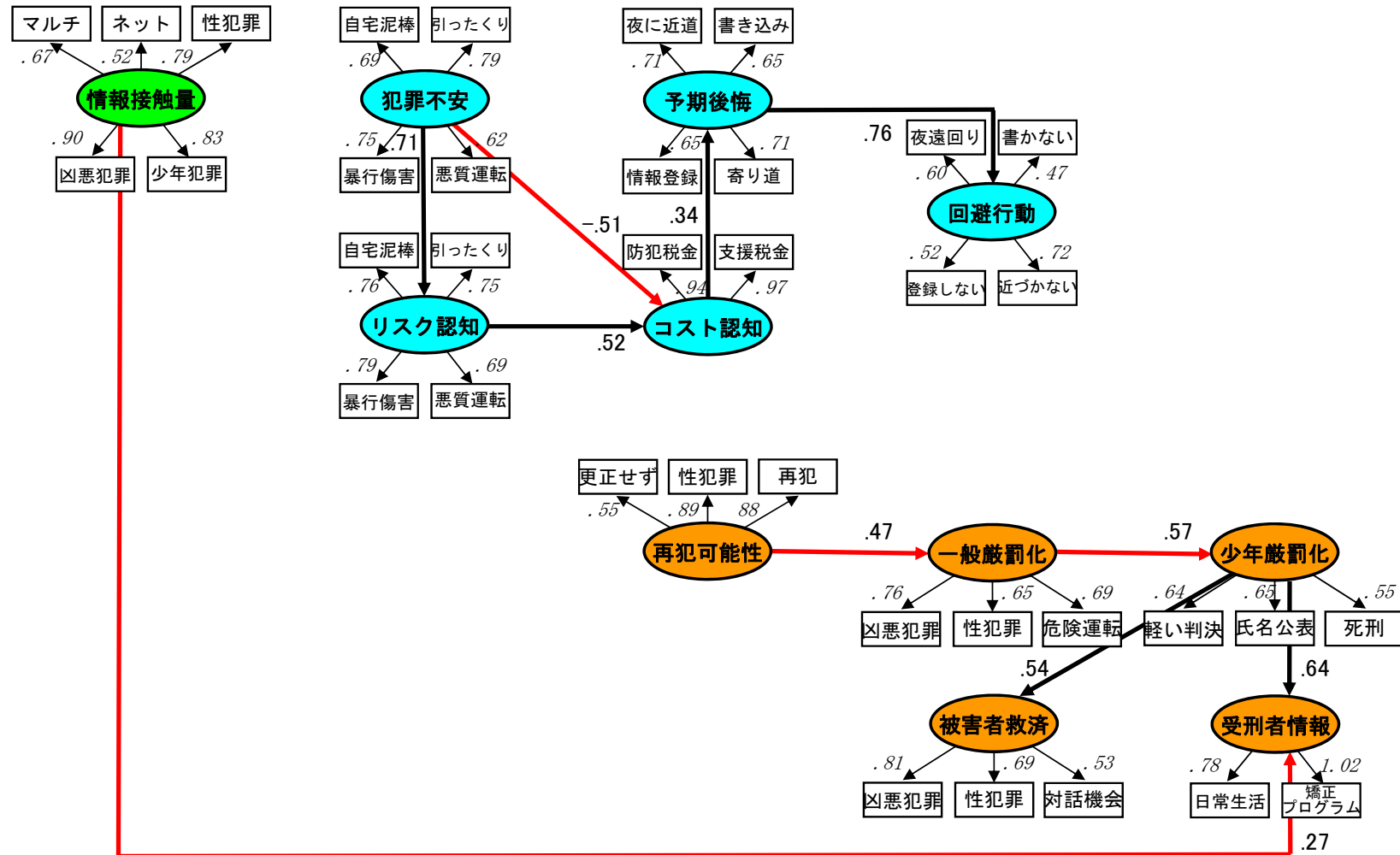
因果モデル 2007年 (50歳未満) (n=258)



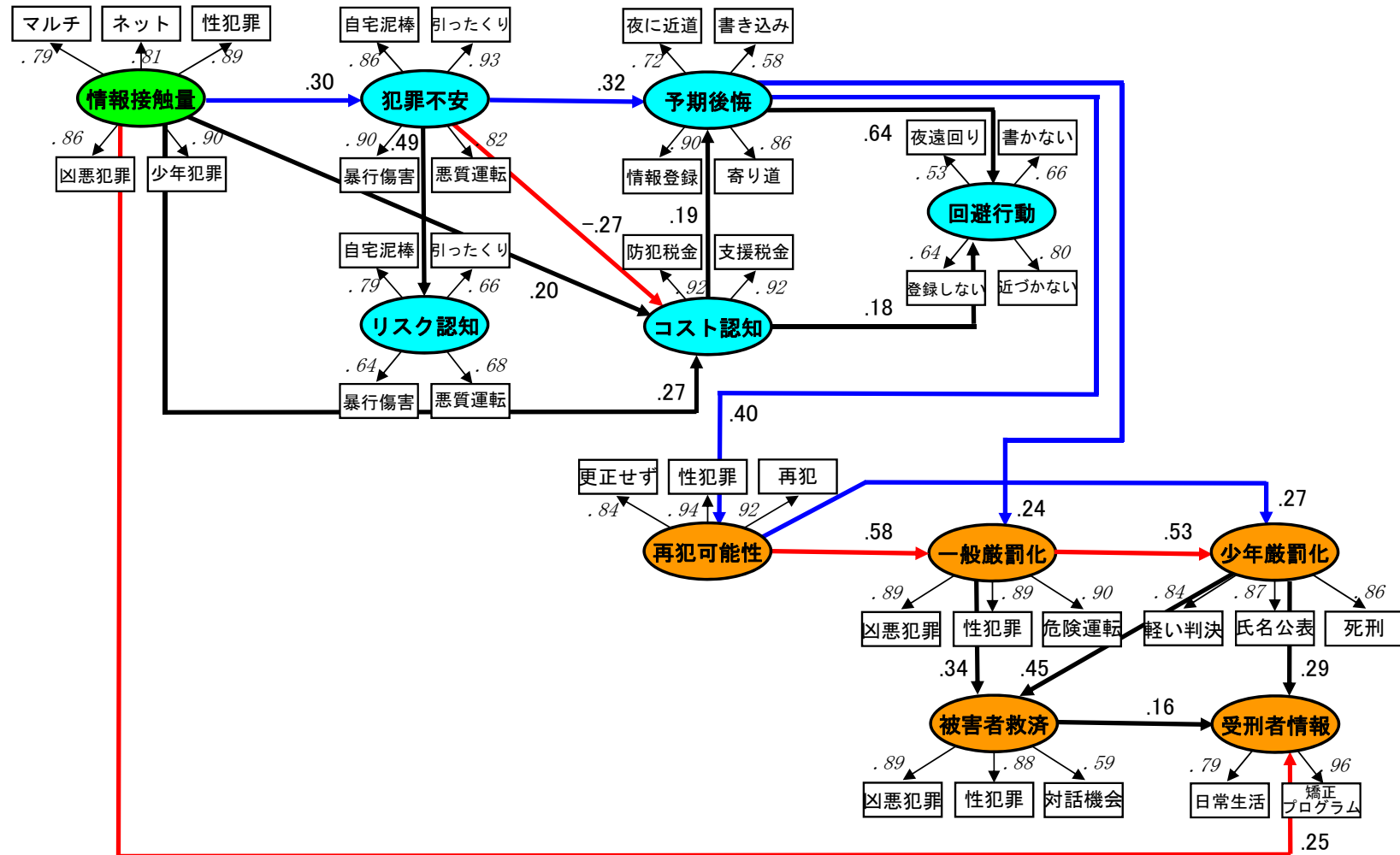
壮年者 (50歳未満) と 高齢者 (50歳以上) の比較のため 男女差のある性犯罪関連を外した またパス係数の低い顕在変数も外した

AIC =6037.063
CFI =.911
PCFI =.805
RMSEA =.030

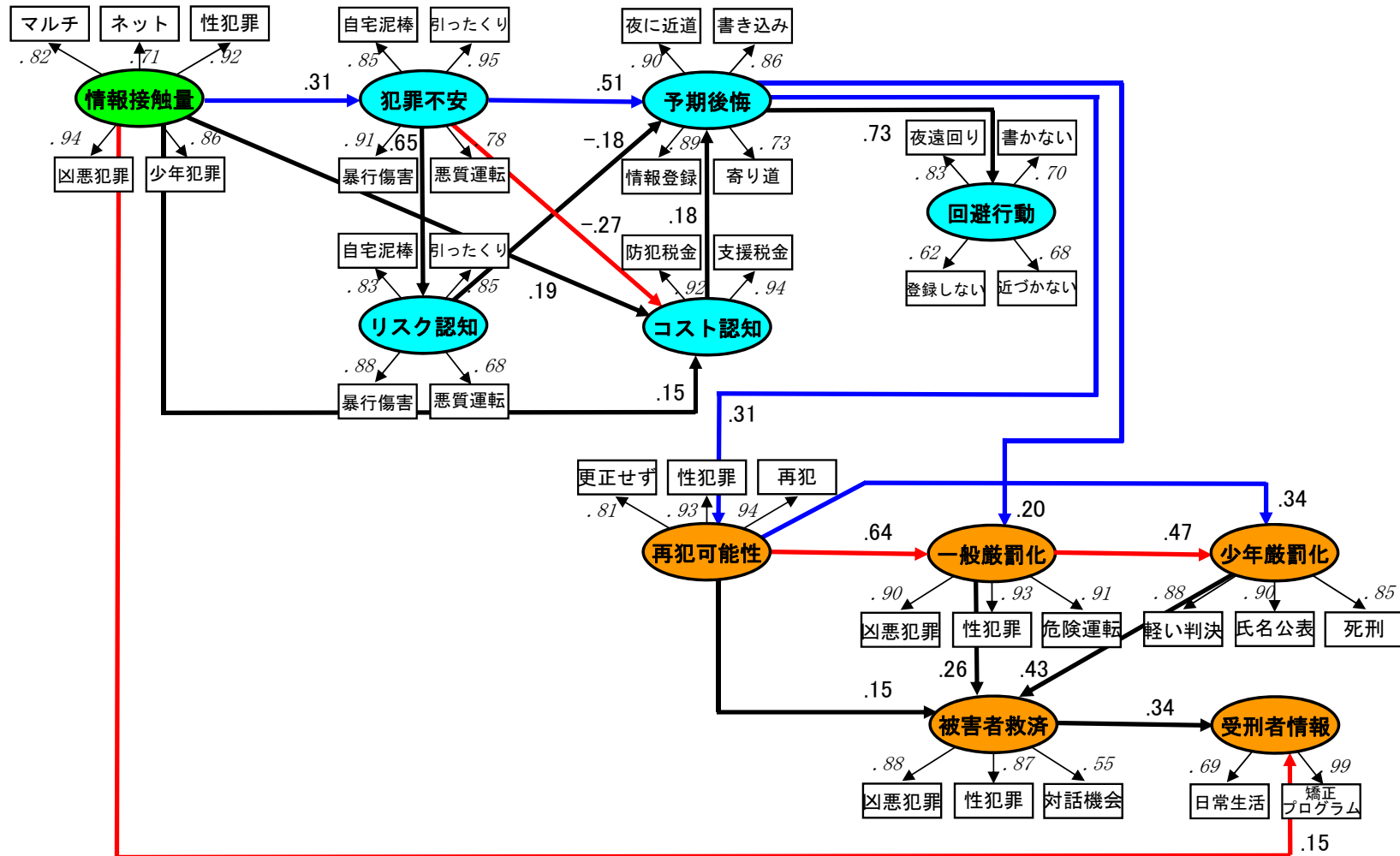
因果モデル 2007年 (50歳以上) (n=93)



因果モデル 2020年 (50歳未満) (n=456)



因果モデル 2020年 (50歳以上) (n=364)



結果2 まとめ

■ 3カテゴリ（年×年代）以上に共通するプロセス

□ 意思決定プロセス

■ 犯罪不安 ⇒ コスト認知 ⇒ 予期後悔 ⇒ リスク回避行動

■ 情報接触量 ⇒ 犯罪不安 ⇒ 予期後悔 ⇒ リスク回避行動

□ 上市・楠見（2000）と同様なプロセスであることを確認

特に「予期後悔⇒行動」は健康信念モデルでも同様（Christy et al., 2016）

⇒ 状況、時代などの影響も受けにくい安定したプロセスかも

□ 刑事司法制度評価プロセス

■ 予期後悔 ⇒ 再犯可能性 ⇒ 厳罰化（一般犯罪） ⇒ 厳罰化（少年犯罪）



感情「予期後悔」が両方のプロセスの橋渡しの存在

犯罪に関する事柄については、二重過程理論のシステム1

（感情的プロセス：Evans, 2008）で意思決定している可能性が高い

考察

23

- 市民の安全意識が低下している問題はあるが、加害者に対する許容度も上がっている
 - ⇒ 地域社会の人たちと加害者・出所者たちが共生し、協働する社会の実現に向かっている傾向あり
- 犯罪関連については
 - 「感情」（犯罪不安、予期後悔）が大きな影響を与えている
 - リスク回避行動の低下を防ぎ、被害者救済、加害者支援などに対する意識を高めるためには感情をコントロールし、認知的プロセスを活性化させる必要あり
 - ⇒ 「予期後悔」 的思考・評価が中心的存在である可能性大

結論

- 刑事司法制度の改正により、治安の高まり、犯罪不安、リスク認知、厳罰化、コスト回避などが低下
犯罪者等に対する許容態度の増加

⇒共生・協働社会の実現へ前進傾向

- ただし、防犯意識等の低下が懸念される

⇒ 「予期後悔」的思考・評価スタイルの活性化・活用が必要

今後の課題

- 共生・協働に必要な更生支援活動等の検討も必要 (讃井・上市, 2019)
- 経年比較の継続

参考文献

- Christy, S. M., Winger, J. G., Raffanello, E., Halpern, L. F., Sharon, S., & Mosher, C. E. (2016). The role of anticipated regret and health beliefs in HPV vaccination intentions among young adults. *Journal of Behavioral Medicine*, 39(3):429-40.
- Evans, J. St. B. T. (2008). Dual-Processing Accounts of Reasoning, Judgment, and Social Cognition. *Annual Review of Psychology*, 59, 255-278.
- Ferarro, K., & LaGrange, R.(1987). The measurement of fear of crime, *Sociological Inquiry*, 57, 70-101.
- Herman, J. L. 1992 Trauma and recovery, New York: Basic Books.
- 法務省(2019).犯罪白書(令和元年版) <http://hakusyo1.moj.go.jp/jp/66/nfm/mokuji.html> (最終閲覧日: 2020年7月18日)
- 小野寺・桐生・樋村・三本・渡邊 (2002). 犯罪不安喚起の諸要因を検討する実験室研究のアプローチ. *犯罪心理学研究*, 40, 1-12.
- 大和田 2003 犯罪被害者遺族の心理と支援に関する研究 風間書房
- 讃井知・上市秀雄 (2019).一般市民の更生支援に対する認知および参加意向の向上にむけた検討. *更生保護学研究*, 15, 55-65.
- 上市秀雄(2003).個人的リスク志向・回避行動の個人差を規定する要因の分析 風間書房
- 上市秀雄・楠見孝 (2000). 後悔がリスク志向・回避行動における意思決定に及ぼす影響: 感情・パーソナリティ・認知要因のプロセスモデル. *認知科学*, 7(2), 139-151.
- 上市秀雄・楠見孝 (2007).犯罪不安がリスク認知, 対処行動, 司法行政評価に及ぼす影響. *日本心理学会第71回大会発表論文集*, 397.
- Ueichi, H., & Kusumi, T. (2008). Structural equation modeling of risk avoidance in everyday life. *New Trends in Psychometrics: Universal Academic Press*. pp. 491-500.
- 上市秀雄・楠見孝 (2010).裁判員制度に対する参加意向・要望に影響を及ぼす認知・感情要因の関連性: 定職の有無による比較. *認知心理学研究*, 7(2), 89-101.
- 上市秀雄・楠見孝 (2015).裁判員参加意向を規定する要因および意思決定プロセスの差異: 制度施行前後の比較. *認知科学*, 3, 326-340.
- Weitzer, R., & Kubrin, C. E. (2004). Breaking News: how local TV news and real-world conditions affect fear of crime, *Justice Quarterly*, 21, 497-521.